

大谷石工房通信

毎月 14 日 (いしのひ) 発行

4月 14 日 56号

〒337-0003

さいたま市見沼区深作1-28-12

電話 0120-814501 F A X 048-699-0814

ホームページ <http://www.ooyaishi.co.jp>

東北地方太平洋沖地震により被害を受けられました皆様に心からお見舞い申し上げます。

あの日以来 毎日余震が続き 気持ち的にも回復することなく1か月が過ぎました。

東北地方の方々の映像を見ると そんな事言っている場合じゃないくらい大変な毎日をすごしている姿をTVで見ます。
がんばれ！！なんて言葉をかけることもできないくらい大変なことになってしまっていますね。
自分ならどうするか？と問いかけても・・・あの瓦礫の山をみたら 途方にくれていまだになにもしていないのでは？と思ってしまう。

いま自分ができること！！
を毎日考え実行していること 電気を節約すること
玄関の電気・トイレ・コンピューター・プリンターこまめに消すこと
子供たちにも 週1回のゲームの日 DSも 地震以来我慢させています。
”たまにはゲームやりたいよ”と 訴えてくることもありますが・・
地震後被災地の人たちをTVでみて自分でできることはなんですか？
大変だとおもいませんか？と問いかけると
”がまんするよ”とっています。

自分たちができることは大したことではないけれど
決して他人ごとではないことを
子供たちにもわかるように教えなければいけないと思います。

私が住んでいるこの埼玉県は本当に被害が少なく最初の10日間位がガソリンが入れられないとか牛乳が買えない 卵がないと困ったくらいで今はほとんどその心配もなく普通に生活しています。
募金活動をしたり 芸能人のように多額のお金を寄付したり活動していない一般人は本当にたいへんなことになっていることさえ忘れてる人もいるかも知れない

親が買い物に行きご飯を食べさせてくれて ニュースも見ない
親も教えない子供は ”地震が多いな”くらいでなにもわかっていないのです。
なにも我慢せず普通に暮らしていることがとてもありがたいことなんだと
しっかり教えて自分たちも自覚していかなくてははいけないと思います。

これからまた暑い夏がきてエアコンで電力の問題もまた復活します。
いまからしっかり一人一人が見直していかなくてははいけないと思います。

今月のブレーン大谷石工房予定

・幸手→茨城→川口→東岩槻→さいたま市→越谷→と続きます。

茨城 千葉のお客様も工事お待ちいただいておりますが
余震が続いている中大谷石を積んでしまうとモルタルが固まる前に
また倒壊してしまう恐れがあるので 今しばらくおまちください。